

日米投信週次概況(2024年6月19日週)

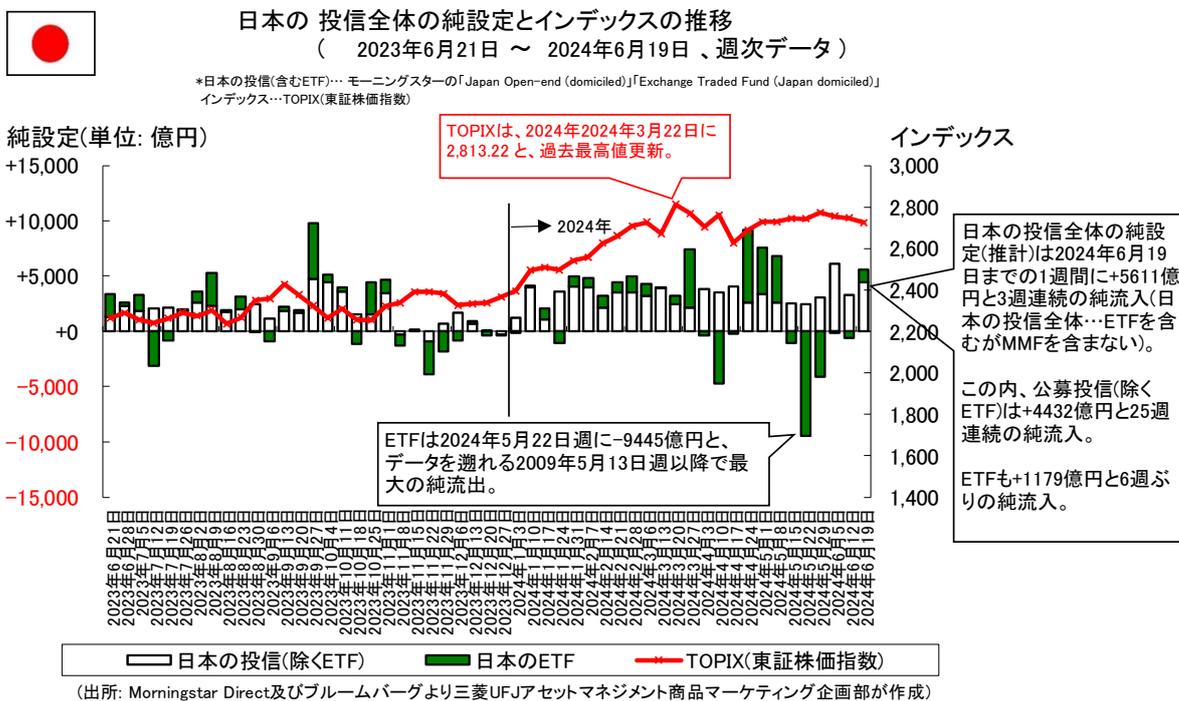
日本で日本株ファンドに流入、ETFも巨額資金流出から流入へ！
 米国では大型グロース株に6年半ぶりの大きな純流入！
 テクノロジーファンドにも記録的な資金流入!!

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
 窪田真美 (mami-kubota@am.mufg.jp)

- 日本で日本株(大型株)ファンドに流入、ETFも巨額資金流出から流入へ.....p.1
- 米国では半導体大手エヌビディアが時価総額世界最大になった6月18日に大型グロース株に6年半ぶりの大きな純流入！ テクノロジーファンドにも記録的な資金流入!!.....p.5

● 日本で日本株(大型株)ファンドに流入、ETFも巨額資金流出から流入へ

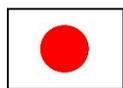
日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年6月19日までの1週間に+5611億円と3週連続の純流入(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。うち公募投信(除くETF)は+4432億円と25週連続の純流入。ETFも+1179億円と6週ぶり純流入。



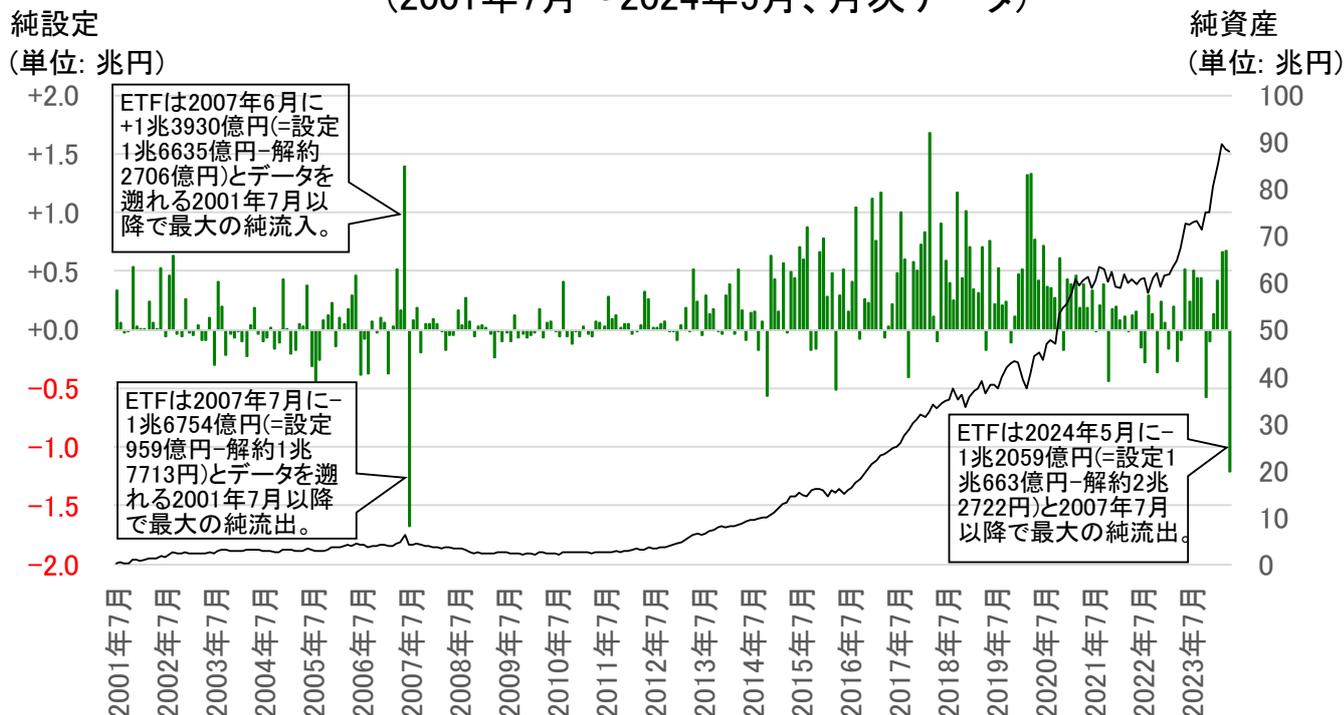
2024年6月19日までの1週間にETFは+1179億円と6週ぶり純流入だった(←6月12日週-593億円←6月5日週-145億円←5月29日週-4129億円←5月22日週-9445億円~週次データを遡れる2009年5月13日週以降で最大の純流出~←5月15日週-1018億円←5月8日週+4238億円)。

2024年6月13日発表の投資信託協会・投資信託概況でETFは2024年5月に1兆2059億円(=設定1兆663億円-解約2兆2722円)と2007年7月以降で最大の純流出であった(投資信託協会・投資信託概況 <https://www.toushin.or.jp/statistics/statistics/data/>)

ETFはB-1 資産増減状況「株式追加型ETF」月次に2001年7月からある、B-2 資産増減状況 株式投信の商品分類内訳「ETF」は2014年6月から。



日本のETFの純設定と純資産の推移 (2001年7月～2024年5月、月次データ)



(出所: 投資信託協会より三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

2024年5月27日付投信調査レポートNo.415「日本でETFから巨額流出！日銀は今？ 米国ではハイテク株ファンドに2か月ぶりの純流入！（インド株ファンドにも流入）」(https://www.am-mufg.jp/report/investigate/report_240527.pdf)、2024年6月5日付日本版ISAの道 その403「日銀は香港の政府ETF「トラック・ファンド」の様に国民へETFを売り出し、資産形成を推進するのか？～国際金融センター上位でもある香港の投信等資産運用動向～」(https://www.am-mufg.jp/report/investigate/column_240610.pdf)でも指摘してきた事である。

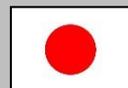
2024年6月22日(土)には日本経済新聞朝刊が「株停滞『主犯』はETFか——5月、17年ぶり巨額流出 『債券損失を補填』の声(スクランブル)」という見出しで報じた(<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ081577310R20C24A6EN8000/>)。下記にそのごく一部を引用する。

「日経平均株価は上値の重い展開が3カ月にわたって続く。隠れた売り手として市場関係者の注目を集めているのが上場投資信託(ETF)からの巨額の資金流出だ。…(略)…。5月月間の日本株ETFからの資金流出は全体で1兆2348億円。…(略)…。誰が大量解約したのか。個別のETFを丁寧にみると2つの説が浮かび上がる。1つは『**短期トレードの利益確定説**』。…(略)…。2つ目は『**益出し説**』だ。金融機関は新年度に入る4月から、含み益のあるETFを売却し、実現益を早めに確定することが多い。ほかの資産の損失処理の穴埋めに益出しを使うこともある。…(略)…。4～5月の主な売り手は証券会社の自己売買部門で約2.4兆円と巨額だ。ETFの売却の一部が証券自己の売りに表れたもようだ。金融機関のETFの売りは、日本株の弱さを嫌気したものではない。外債の含み損はおおむね処理が完了したとの指摘もある。益出しが一巡すれば、需給上の重荷がなくなり、株価もおおのずと上がりやすくなるはずだ。」(強調下線は当レポート筆者、2024年6月22日付日本経済新聞「株停滞『主犯』はETFか——5月、17年ぶり巨額流出 『債券損失を補填』の声(スクランブル)」～ <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ081577310R20C24A6EN8000/>)。

ETFの大量解約について、これまでの投資信託協会のコメントによると、①相場の上昇に伴ってレバレッジ型や日経225等の指数連動型において利益確定の売り(2023年11月)、②機関投資家による国内株式連動型ETFの解約(2021年11月)、③裁定取引などによる機関投資家の売り需要(2021年8月)であった(下記※1参照)。

米国ではETFにリバランスの日で大規模資金流入が反転する時に見られる(後述の米国欄参照)。

※1: ETFの純流出についての投資信託協会のコメント…



2024年6月13日発表の投資信託協会・投資信託概況でETFは2024年5月に-1兆2059億円(=設定1兆663億円-解約2兆2722円)と2007年7月以降で最大の純流出であった(投資信託協会・投資信託概況

<https://www.toushin.or.jp/statistics/statistics/data/> ETFはB-1 資産増減状況「株式追加型ETF」月次に2001年7月からある、B-2 資産増減状況 株式投信の商品分類内訳「ETF」は2014年6月から)。

この背景について、投資信託協会のコメントは2024年6月24日時点で公表されておらず確認出来ないが、過去の大きなETFの純流出について、投資信託協会が会長記者会見でコメントしているのでそれを見る(投資信託協会 会長会見・談話 <https://www.toushin.or.jp/profile/chairmanc/index.html>)。

①2023年11月(設定額7489億円、解約額1兆3204億円、純流出5715億円、運用増減4兆3929億円)…2023年12月13日付投資信託協会会長記者会見で、記者が「2023年11月は公募証券投信で2017年4月以来の資金流出となったが、この背景について伺いたい。」と質問、川本統計情報室長が「ETFの設定額は7,489億円、解約額は1兆3,204億円であり、5,715億円の純資金流出となった。このETFの解約により、ETFを含めた公募証券投信全体では資金が流出した。…(略)…ETFについては、相場の上昇に伴って、レバレッジ型や日経225等の指数連動型において、利益確定の売りが多く発生した。」(<https://www.toushin.or.jp/files/profile/9/pressconference20231213.pdf>)と答えている。

②2021年11月(設定額7101億円、解約額1兆1493億円、純流出4392億円、運用増減▲2兆2307億円)…2021年12月13日付投資信託協会会長記者会見で、記者が(2021年11月に)「上場投資信託(ETF)について、今回は資金流出額が多いように見受けられる。この規模はいつ以来となるか。」と質問、川本統計情報室長が「今回の流出額は4,392億円と、2016年4月の5,156億円に次ぐ規模である(67カ月ぶり)。流出の背景としては、11月下旬の株式相場下落局面において、機関投資家による国内株式連動型ETFの解約がまとまって入ったこと等も要因の一つであると考えている。」(<https://www.toushin.or.jp/files/profile/9/20211213.pdf>)と答えている。

③2021年8月(設定額6217億円、解約額6366億円、純流出149億円、運用増減1兆7305億円)…2021年9月13日付投資信託協会会長記者会見で、記者が(2021年8月に)「8か月ぶり上場投資信託(ETF)が149億円の資金流出となっているが、この要因について伺いたい。」と質問、市倉統計情報部長が「ETFが8か月ぶりに流出超過となった背景には、要因は特定できていないが、裁定取引などによる機関投資家の売り需要があったのではないかと想定される」(<https://www.toushin.or.jp/files/profile/9/2021913.pdf>)と答えている。

純流入が続く公募投信(除くETF)について最新6月19日週の純設定額+4432億円を分類別に見る。

純流入1~5位は北米株、グローバル株、インド株、日本株大型グロース、グローバル株-日本を除く。日本株は大型株が+620億円と、前週6月12日週の+26億円から大幅に増加。



日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

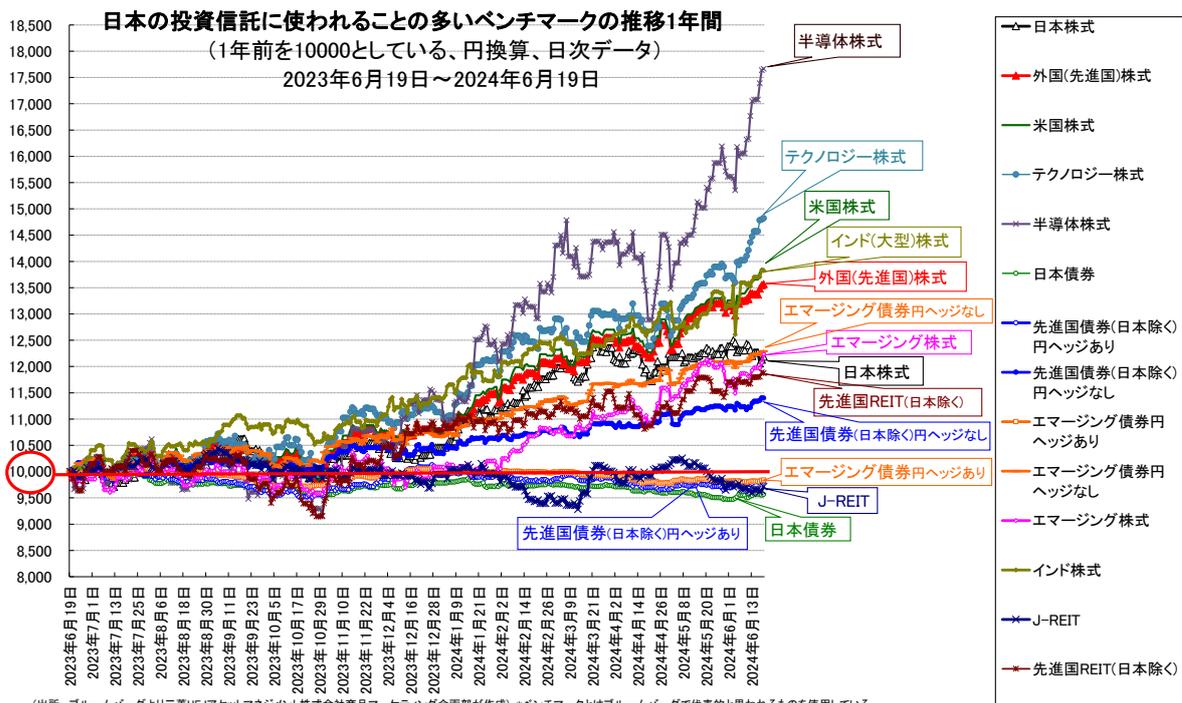
2024-06-19現在

*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	North America Equity	+145,729	+151,197	+584,720	19,231,710	北米株
2	World Equity	+120,287	+63,428	+422,326	16,111,419	グローバル株
3	India Equity	+53,971	+56,916	+212,201	3,336,502	インド株
4	Japan Large-Cap Growth Equity	+40,537	-10,790	+52,441	5,964,014	日本株大型グロース
5	World ex-Japan Equity	+35,490	+19,066	+157,797	11,268,005	グローバル株-日本を除く
6	Moderately Aggressive Allocation	+13,899	+10,597	+50,327	4,290,743	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
7	Japan Large-Cap Blend Equity	+11,906	+3,036	+41,016	4,739,280	日本株大型ブレンド
8	Japan Large-Cap Value Equity	+9,448	+10,328	+45,497	1,376,006	日本株大型バリュー
9	Trading - Leveraged/Inverse Equity	+8,204	-11,110	-7,309	709,559	トレーディング・レバレッジド/インバース株
10	Moderate Allocation	+7,110	+6,220	+33,177	3,404,380	モデレート・アセットアロケーション
20	Japan Specialty Equity	+2,312	+2,165	+8,937	649,593	日本・特定テーマ/セクター株
21	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+2,170	+814	-2,630	1,266,727	日本中小型バリュー株
68	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	-344	-364	-1,172	250,890	日本中小型ブレンド株
74	Japan Other Equity	-500	+19	-1,132	448,292	日本その他株
87	World Other Equity	-1,883	-2,017	-8,275	949,534	その他グローバル株
88	Japan Money Market	-2,082	+1,170	-1,586	33,257	日本マネー
89	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-2,126	-2,861	-861	1,502,015	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
90	Australia & New Zealand Bond	-2,498	-1,573	-7,695	635,177	オーストラリア&ニュージーランド債
91	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,795	-2,966	-9,312	1,062,048	日本中小型グロース株
92	Other Allocation	-3,180	-3,932	-13,197	748,006	その他アロケーション
93	World Equity - JPY Hedged	-3,470	-3,504	-14,504	656,953	グローバル株-円ヘッジ
94	North America Equity - JPY Hedged	-3,942	-4,867	-18,164	714,380	北米株-円ヘッジ
95	Risk Control Allocation	-4,308	-3,539	-13,425	1,272,208	リスク・コントロール・アセットアロケーション
96	World Specialty Equity	-7,867	-8,774	-21,619	12,747,585	グローバル・特定テーマ/セクター株
	全96分類の合計	+443,214	+327,752	+1,689,536	129,388,245	
指数名	リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	-1.01	+0.30	-0.23			
S&P500	+1.26	+1.28	+3.51			
MSCI ワールド	+0.25	+0.98	+1.82			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバークより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。



(出所: ブルームバークより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) *ベンチマークとはブルームバークで代表的と思われるものを使用している。

●**米国では半導体大手エヌビディアが時価総額世界最大になった6月18日に大型グロース株に6年半ぶりの大きな純流入！ テクノロジーファンドにも記録的な資金流入!!**

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は、6月19日までの1週間に+213億^{ドル}/約3.4兆円と2週ぶりの純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 このうち、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは+17億^{ドル}/約2710億円と11週ぶりの純流入で、2023年2月1月週(+34億^{ドル})以来1年4か月強ぶりの大きな純流入。** **ETFも+196億^{ドル}/約3.1兆円と9週連続の純流入となった**(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道

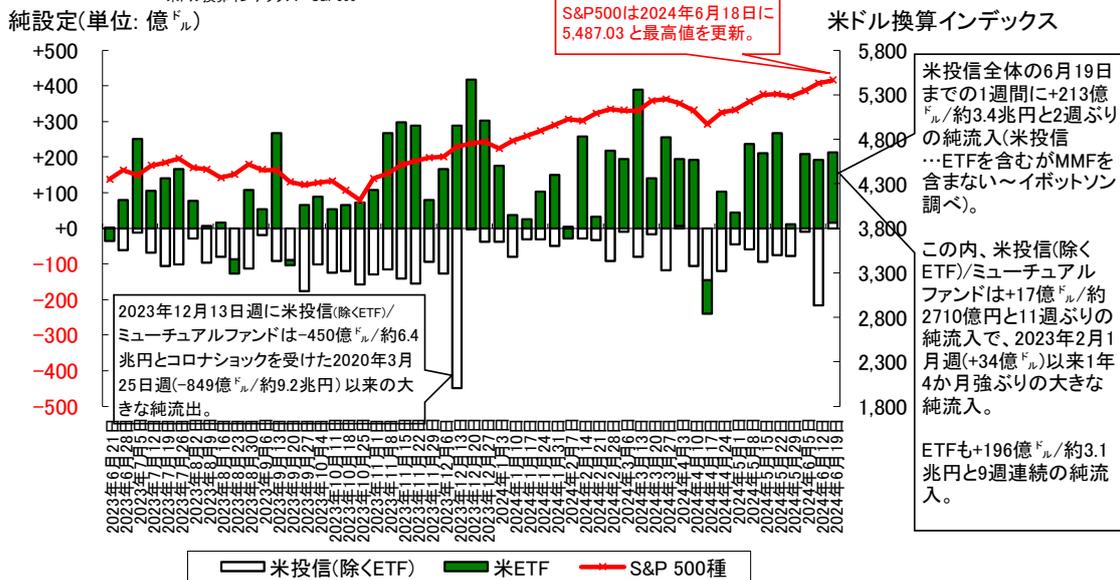
その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_21117.pdf)



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2023年6月21日 ～ 2024年6月19日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)… モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2024年6月19日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 **米国株は+225億^{ドル}と半年ぶりの大きな純流入、セクター株は+5億^{ドル}と3週連続の純流入。** 一方、**外国株は-2億^{ドル}と2週ぶり純流出。** **債券は+22億^{ドル}と3週連続の純流入も鈍化傾向。** **コモディティは-7億^{ドル}と2週連続の純流出で加速。**

投資対象をより細かく分類別に見る。 **純流入1～3位は米国大型グロース株、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国中型ブレンド株。** 1～10位すべて米国という「米国一強」(2024年6月24日付日本版ISAの道 その404「米国の個人向けS&P500インデックスファンド最大かつ最低コストはバンガード?～世界のS&P500インデックスファンド、フィデリティ500インデックスファンドとは? 米国の(シェア)クラスと日本の種類受益権～」～ <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/>)。

S&P500は2024年6月18日に5,487.03と最高値を更新。米半導体大手エヌビディア/Nvidiaが大幅高となり、時価総額3兆3300億^{ドル}とIT大手マイクロソフトを抜いて初めて世界1位となった(2024年6月21日ではマイクロソフトとアップルの次に、S&P500とエヌビディアについては2024年4月22日付日本版ISAの道 その400「世界のハイテク(半導体)株ファンド～『NISAのお手本』英ISAでハイテク株やインド株が人気! ハイテク(半導体)株やインド株にバブル・ピークやショック前に積立投資をすると…～」～

https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_240422.pdf)。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2024-06-19現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類	1 Large Growth	+11,474	+3,699	+15,375	2,164,370	米国大型グロース株
	2 Large Blend	+5,494	-14,286	-4,507	3,826,704	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	3 Mid-Cap Blend	+2,576	-840	+1,985	359,968	米国中型ブレンド株
	4 Large Value	+997	-2,570	-3,633	1,354,236	米国大型バリュー株
	5 Long Government	+984	+1,361	+2,992	129,160	米国長期国債(6年超)
	6 Small Blend	+962	+1,239	+1,410	420,049	米国小型ブレンド株
	7 Technology	+837	+2,297	+3,559	359,713	米国テクノロジー株
	8 Ultrashort Bond	+728	+837	+4,521	308,630	米国超短期債
	9 Intermediate Core Bond	+645	+1,191	+4,223	665,768	米国中長期コア債
	10 Intermediate Government	+607	+376	+2,368	201,554	米国中長期国債(4-6年)
下位 10 分類	32 India Equity	+70	+160	+967	20,030	インド株
	92 Japan Stock	-67	+93	-234	36,782	日本株
	113 Bank Loan	-223	+220	+807	73,312	米国バンクローン
	114 Global Allocation	-230	-317	-1,575	261,391	グローバル・アセットアロケーション
	115 Trading--Leveraged Debt	-250	+375	+109	5,776	トレーディングレバレッジ債券
	116 Long-Term Bond	-353	+2	+477	27,395	米国長期債(6年超)
	117 Digital Assets	-392	+749	+2,068	74,312	デジタル資産(ビットコイン等)
	118 Moderate Allocation	-397	-328	-1,392	478,925	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
	119 Intermediate Core-Plus Bond	-445	-555	+24	590,270	米国中長期コアプラス債
	120 Commodities Focused	-711	-55	-1,036	126,241	商品・フォーカス
	121 Options Trading	-778	+1,321	+815	82,898	オプション・トレーディング
	122 Trading--Leveraged Equity	-1,871	-1,692	-4,186	101,728	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
全122分類の合計		+21,302	-2,535	+31,785	19,007,803	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-1.01	+0.30	-0.23		
S&P500		+1.26	+1.28	+3.51		
MSCI ワールド		+0.25	+0.98	+1.82		

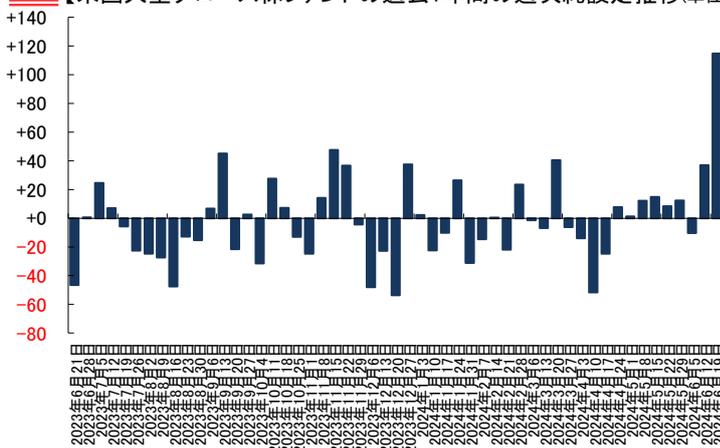
(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

1位の米国大型グロース株を見る。最新2024年6月19日週に米国大型グロース株ファンドは+115億ドル/約1.8兆円と2017年12月27日週(+143億ドル~週次データのある2009年6月1日以降で最大)以来6年半ぶりの大きな純流入(最新週+115億ドルのうち、ETFが+122億

ドルと週次データのある2009年6月1日以降で最大の純流入、米国ではミューチュアルファンドよりETFが人気…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増! 米国はミューチュアルファンド・コンパージョン(転換)が寄与~米国と日本のアクティブファンドとパッシブ(インデックス)ファンド~」~ https://www.ummf.co.jp/report/investinfo/ohann_231117.pdf)

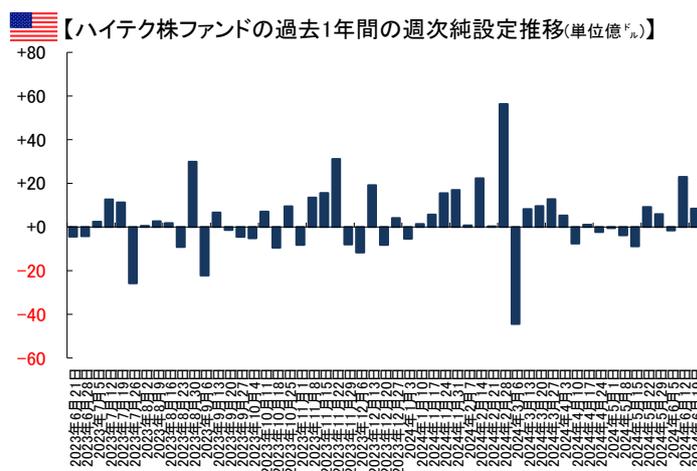
【米国大型グロース株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

ハイテク株(米国テクノロジー株)についても見る。最新2024年6月19日週にハイテク株ファンドは+8.4億^{ドル}/約1338億円と前週(+23億^{ドル})を下回るものの2週連続の純流入となり全122分類中7位(最新週+8.4億^{ドル}のうち、ETFが+8.7億^{ドル}と2週連続の純流入、米国ではミューチュアルファンドよりETFが人気…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！米国はミューチュアルファンド・コンバージョン(転換)が寄与～米国と日本のアクティブファンドとパッシブ(インデックス)ファンド～」
https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_231127.pdf)。

ハイテク株については2024年4月22日付日本版ISAの道 その400「世界のハイテク(半導体)株ファンド～『NISAのお手本』英ISAでハイテク株やインド株が人気！ハイテク(半導体)株やインド株にバブル・ピークやショック前に積立投資をすると…～」(https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_240422.pdf)を参照。



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

なお、ハイテク株については、2024年6月22日付Bloombergが「人工知能(AI)の熱狂は今週、米半導体大手エヌビディアの時価総額を一時的に世界最大に押し上げた。そうした熱狂を背景にテクノロジーファンドにも記録的な資金が流入していると、米銀バンク・オブ・アメリカ(BofA)のストラテジストらが指摘した。BofAがEPFRグローバルのデータを引用して記したレポートによれば、19日までの1週間に約87億^{ドル}(約1兆3900億円)がテクノロジーファンドに流入した。」(2024年6月22日付Bloomberg「『全ての道はエヌビディアに通ず』、ハイテクに資金流入ーBofA」
<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2024-06-21/SFFLS2DWX2PS00>)と報じていた。

ただ、このテクノロジーファンドの記録的な流入の要因については、「ハイテク株ETF『テクノロジーセレクトセクターSPDR(ティッカー:XLK)』の四半期リバランスに起因するものであり、数日内に大規模流出があるだろう。」と報じられていた(強調下線は当コラム筆者、2024年6月22日付Bloomberg「Tech Funds' Record Cash Injection Is Traced to 'Messy' Rebalance」
<https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-06-21/tech-funds-record-cash-injection-is-traced-to-messy-rebalance>)。

ETFにはリバランスの日に大規模資金流入が反転する事が見られる(2024年3月11日付投信調査レポートNo.411「日本では北米株が純流入トップ、2024年は既に約1.3兆円！米国では債券が3年ぶり大きな純流入！ハイテク株の巨額純流出はインデックス・リバランスでのキャピタルゲイン発生を回避する為」
https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_240311.pdf)。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会